

東区博物館めぐり★

東区内にある、いにしえの生活を知ることが出来る記念館や、産業の歴史を伝える博物館をご紹介します。

いにしえの

生活を知る

札 幌村郷土記念館は、旧札幌村（現在の東区）にゆかりのある古文書や農機具、生活用具などを展示した記念館です。



▲札幌村郷土記念館

一八六六（慶応二）年、幕府の命を受けた大友亀太郎が



北十三条東十六丁目付近に御手作場（模範農場）を作ったのが、現在の東区の始まりです。この記念館は、亀太郎の役宅跡地に建てられたもので、一九七七（昭和五十二）年に開館しました。

一九八七（昭和六十二）年には、幕末から明治初期の開拓の様子を伝える大変貴重な歴史資料一四点が、札幌市有形文化財「札幌村・大友亀太郎関係歴史資料および史跡」に指定されています。また記念館の前庭には、この地が全国で最も古いタマネギ栽培歴史を持つことが刻まれた「札幌玉葱記念碑」が建てられています。

《札幌村郷土記念館》

住所北13条東16丁目。
入館時間午前10時～午後3時30分。
見学自由。
入館料無料。
休館日月曜、祝日の翌日、年末年始。
電話(782)2294

産業の歴史を知る

雪 印乳業史料館は、酪農の歴史や乳製品に関する製造技術の移り変わりを紹介する史料館です。

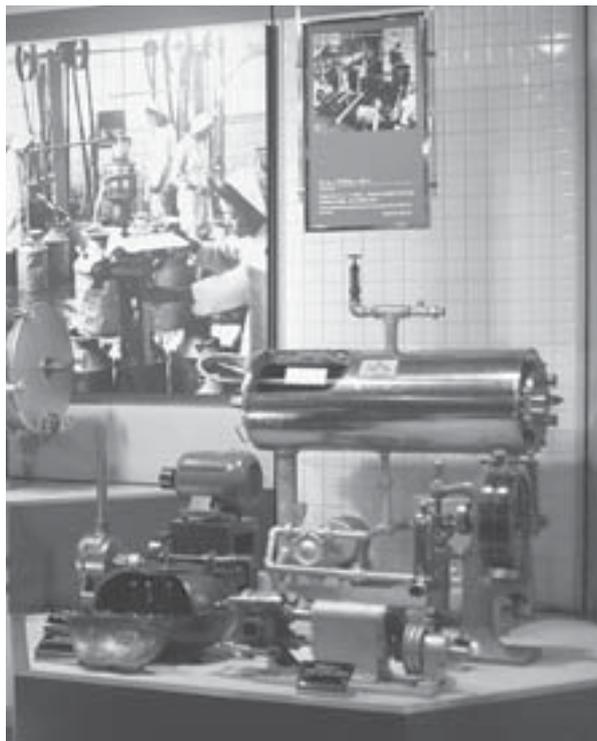


雪印乳業の前身は、一九二五（大正十四）年に設立された「有限責任北海道製酪販売組合」です。

創業の翌年には、雪の結晶と北海道を象徴する北極星を組み合わせた、雪印マークが考案されました。

史料館は、雪印乳業の創業五十周年を記念して設立され、一九七七（昭和五十二）年九月に開館しました。

館内には、創業当時のさまざまな機器が並べられており、乳製品の製造がどのように改良されてきたかが分かるようになっていきます。



▲乳製品の製造機器類などが展示されている

また、現在の工場の様子を十分の一に縮小した動く模型で、乳製品の製造工程を知ることができます。

史料館と、隣接する日本ミルクコミュニティ札幌工場を見学した後は、牛乳と、ここでしか食べられない「史料館特製アイスクリーム」を試食することができます。

《雪印乳業史料館》

住所苗穂町6丁目。
見学時間午前9時～11時、午後1時～3時30分。
入館料無料。
休館日土・日・祝日、年末年始（ただし7・8月は無休）。
その他見学の前日までに要予約。一度につき30名程度の見学が可能。見学の所要時間は40分程度。
電話(704)2329（平日午前9時～午後5時）